

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・我が社では経営理念を社内掲示、目標達成に向け実践している。 ・社員数が少ないことを利用して普段の会話の中で共有している。								8	9											17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・所属団体主催のコンプライアンス研修を受講し、法令遵守を徹底している。																				16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、入札において不正がないよう経営者がチェックしている。 ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないかチェックしている。											10									16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として、代表取締役を、任命している。 ・事業活動において排出される廃棄物や騒音など地域社会や環境に及ぼす影響を理解し防止に取り組んでいる。																				16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・施工時には、他社の知的財産権の侵害を行わないよう、事前に確認を行っている。 ・図面・工事関係書類の外部への持ち出しを禁止している。								8.2 8.3	9											16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・マイナンバーに関しては取り扱う社員を限定し、情報へのアクセス権を設定している。 ・お客様から得た契約情報や住宅・居住者に関する情報は、法律に沿って管理しそれ以外は処分している。																				16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様(取引先、施主、地域住民)の声(苦情、相談)を真摯に受け止めている。場合によっては事前説明会を開催している。																				16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5																17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9			11								16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							5																	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、性別、年齢による差別をしない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・整理、整頓、清掃、清潔、しつけの5S活動を通じて、職場環境の整備や不要物の排除により事故を防止している。 ・社長自らが定期的に現場を巡視し、危険箇所や改善点を発見している。必要場合は対策を講じている。 ・作業中に「ヒヤリ」としたり「ハッ」とした経験を社長に報告し、共有することで、同様の事故を防止している。									8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・法律に則り、同一労働同一賃金の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・働き方改革として、業務効率化による労働時間の短縮や、時差出勤・在宅ワークを導入している。 ・残業時間の管理徹底や有給休暇の取得奨励により、健康増進、家事や育児の時間捻出への環境を整えている。					5.5				8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職種に応じた外部研修の受講や各種資格の取得の奨励(および必要経費の補助)をしており、就業時間内での学習、経費支援をしている。 ※電気工事士、施工管理技士					4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の健康診断には経費補助をしており、毎年受診するよう予約・実施を管理している。										8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格において、年齢、性別などの違いによる差別的待遇はしておらず多様な人材が活躍できる体制を整えている。					4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・時差出勤、在宅勤務(テレワークなど)、外出先からの情報検索など導入している。 ・Web会議活用を徹底している。										8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・CAD、会計などクラウドを採用することで、どこからでも必要な情報にアクセスできる環境を構築しており、業務の効率化を図っている。										8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●													8	9									12	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・EXCELシートにより自社のエネルギー使用量を把握している。 ・LED照明/太陽光パネル/省電力型エアコン導入によりオフィスの節電に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境省の「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握している。 ・社用車を3台中2台をハイブリッド車とし、CO2排出の抑制に取り組んでいる。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業所の周辺、工事現場周辺での、緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出、破壊防止に取り組んでいる。 ・ロードクリーンボランティアによる緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・資材購入においては、無駄が出ないよう必要量を購入したり、使用後にリサイクルできる包装材、材料に配慮している。 ・使用済みのトナーやドラム、カートリッジは回収し、リサイクルのために購入業者に返却している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所では「節水」のために、「節水」の張り紙で意識付けしている。 ・雨水を貯めて植栽の水まきに活用している。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務所で使用するコピー用紙や文具などはグリーン購入商品を優先している。 ・再生用紙利用を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・地域にあるスーパーのフードドライブ活動に参加している。		1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所の敷地の広い周囲に花を植えている。												11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・事務所に太陽光パネルを設置し、オフィスの節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13			15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。企業や社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・施主による中間検査、竣工検査を受けている。 ・資格を持っている社員が施工に携わっている。			3.9						9		12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・現場においても、通行される地域住民の方に分かりやすい表示(ユニバーサルデザインフォント、文字の大きさ)、ぬかるみ解消など負担をかけないように配慮している。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17
	40	【木質化の取組み】 自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4	11.a	12.2		14	15					17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県電気工事業業組合、上天草市設備工事組合に加盟している。 ・ロードクリーンボランティアや配水池場の清掃活動への参加をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所には、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・災害時に社員の安否を迅速に確認できるよう、緊急連絡体制を作っている。 ・事業所の建物が地震に耐えられるように耐震補強を行った。				4							11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等に必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・災害が起こった場合には、敷地や駐車場を避難所として開放している。 ・社員が地域の消防団に加入している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6		10.2									17
	49	【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6											17
	50	【農林水産業の担い手確保】 子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。企業や社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。